

【小川北義務教育学校区】

〈令和5年度の取組〉

- ・前期課程において、後期課程の教師が授業を行う教科担任制を導入することで、教師の専門性を生かした魅力ある授業を展開するとともに、多くの教師が関わることで児童生徒に対する共通理解を推進し、前期課程と後期課程で大きなギャップを感じないような取組をしました。
- ・1～9年生まで、「OKスタイル」と名付けた(課題提示→協働→まとめ→振り返り)という共通した授業の流れで進めることで、自分の考えや思いを交流する場を多く取り入れ、「できる」「分かる」「楽しい」を感じられる授業をしました。
- ・9学年合同の学校行事として、昨年度実施した体育祭、縄跳び大会に加えて、今年度は新入生歓迎会、北創祭、9年生を送る会、卒業式を行い、異学年交流を生かして一体感を感じられる学校を目指しました。



1～9年生までで取り組む「縄跳び大会」



1～9年生までで取り組む「体育祭」

〈令和5年度の成果と課題〉

(成果)

- 各教科で専門性を生かした授業を実践することができました。その結果、「授業の内容が理解できていますか」の設問に、95%の児童生徒が肯定的な回答をしました。
- 様々な行事で異学年交流をする中で、互いに励まし合うことができました。「友達に優しい心で接している」の設問に、96%の児童生徒が肯定的な回答をしました。

(課題)

- 前期課程と後期課程の児童生徒のよりよい交流場面をさらに増やし、一人ひとりの活躍の場を確保することです。

